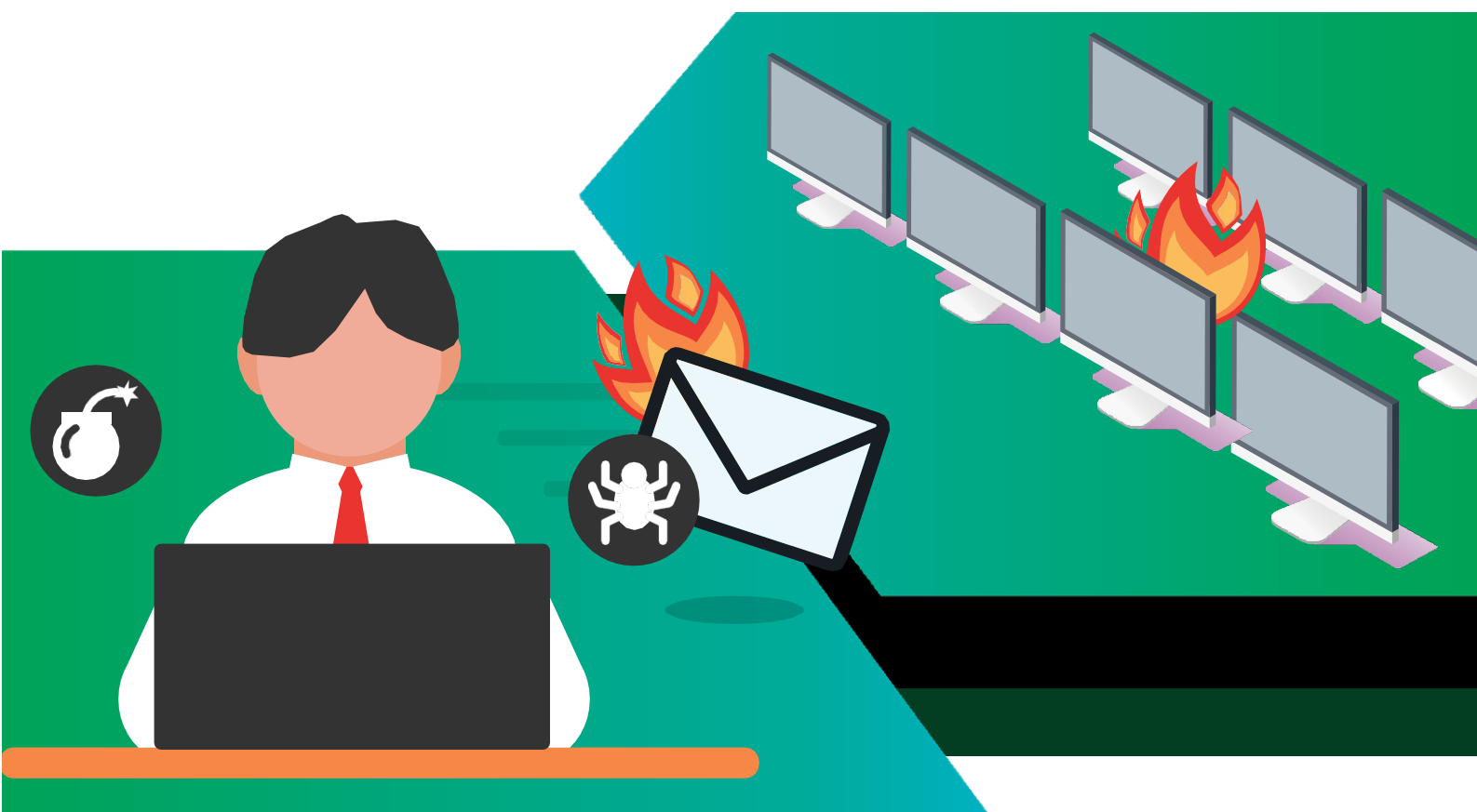


標的型攻撃メール訓練サービス



情報セキュリティ対策は、人で始まり人で終わる



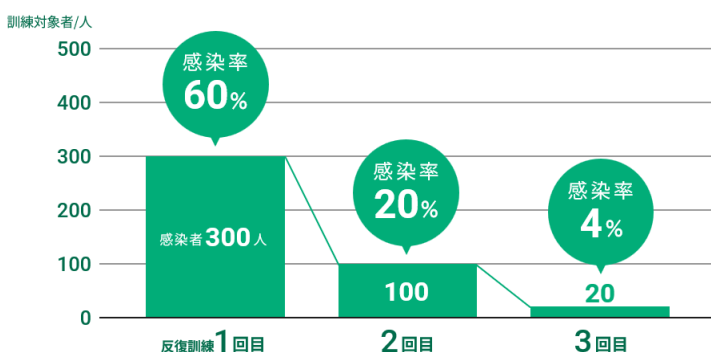
■標的型攻撃メールとは

標的型攻撃メールとは、情報や金銭の窃取を目的として特定の組織に送られるウイルスメールのことです。テレワークが進むなか、標的型攻撃メールは増加の一途を辿り、その巧妙さも増えています。被害の主な原因は、不十分なセキュリティ意識と知識不足です。メールを受信した時に、いつもとの違いに気づき、慌てずに上司やセキュリティ担当者に相談するなど適切な対応を取ることが大切です。

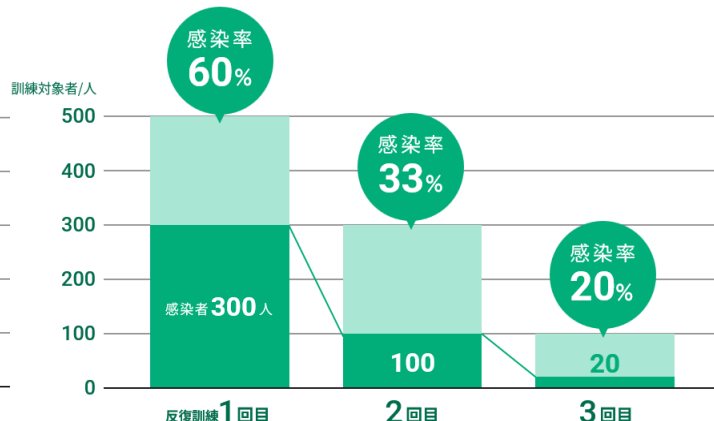
反復訓練 で対策を！

訓練は、一度行っただけでは高い効果を期待できません。継続して、定期的に、何度も繰り返すことが、大きな効果を生み出します。「添付ファイルタイプ」「フィッシング誘導タイプ」など、さまざまな訓練を、MudFixの訓練無制限プランで何度も繰り返すことにより、いざという時の対応力を身に付けることができます。

訓練対象者数一定 対象者数を変えずに、反復訓練により感染者数が減少



訓練対象者数限定 感染者に繰り返し訓練をして、感染者数が減少



■MudFixとは

MudFixとは、必要な標的型攻撃を模した訓練メールを従業員・職員の方々に送信することで、標的型攻撃への対応を身に付けて頂くための予防訓練サービスです。

訓練状況は、リアルタイムに把握することが可能です。

- 個別の詳細な訓練結果
- 進行中の訓練
- ご契約ライセンス情報
- 危険対象者TOP5 などをダッシュボードで一目で確認できます。



■訓練から教育までの流れ



■Point 1. 簡単な訓練設定

訓練設定の手順

簡単な設定ですぐ訓練が可能です。

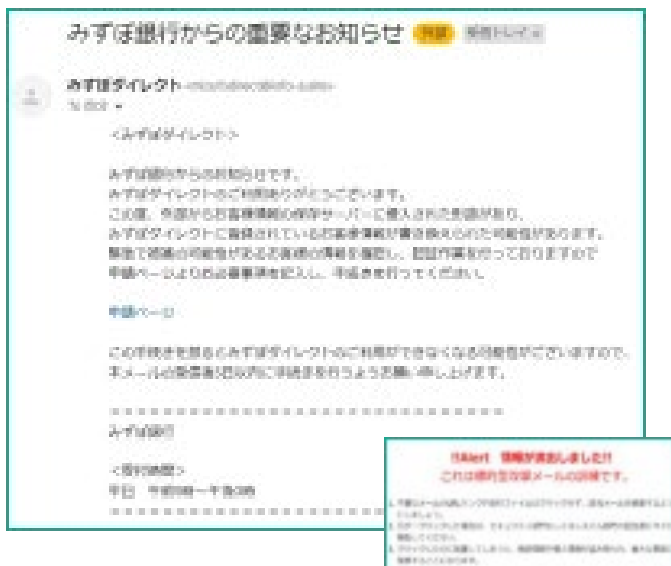
- 1 訓練環境の自動チェック
- 2 訓練日程を設定
- 3 訓練対象者選定
- 4 テンプレート選択

訓練実施



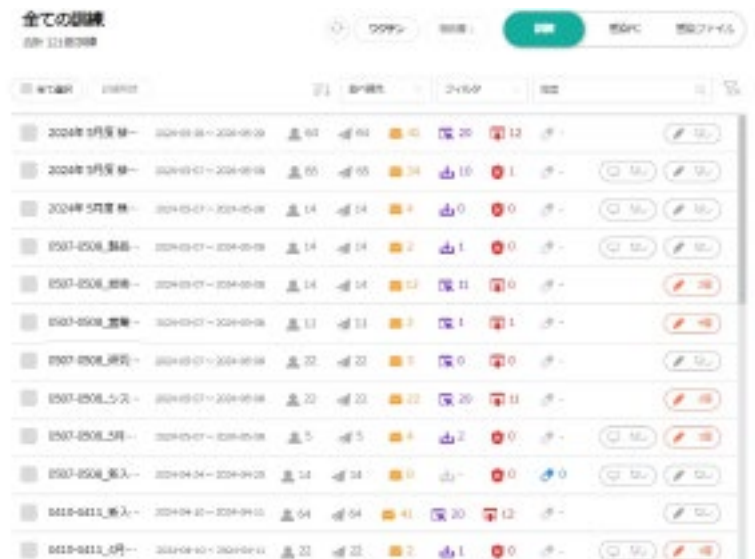
訓練対象に受信される実際の訓練のメール例

訓練効果を高めるリアルな模擬感染訓練が実施できます。







ステータスの反映

訓練効果を高めるリアルな模擬感染訓練が実施できます。



■Point 2. 充実した訓練テンプレート

MudFixは、添付ファイルタイプ(「警告案内/模擬悪性ファイル」/実態調査)タイプの3種類)と、フィッシングページタイプの、4種類のテンプレートをご用意しております。テンプレートの詳細内容はテンプレート編集画面で修正可能です。

	フィッシングページ 最も基本的な訓練類型	<ul style="list-style-type: none">・フィッシングサイトのURLを挿入・個人情報入力ページ作成も可能・訓練対象者へ警告ページを表示
	警告案内 基本的な添付ファイル式 訓練類型	<ul style="list-style-type: none">・ダウンロードした添付ファイルをクリック時、警告案内ページを表示・訓練対象者は、訓練であることを警告案内画面にて認識できる・表示された警告案内画面は訓練対象者にて閉じることができる
	実態調査 実態把握のための訓練類型	<ul style="list-style-type: none">・警告画面を表示しない・訓練対象者は訓練であることを認識することができない・実態把握が目的である訓練類型
	模擬悪性ファイル 事後対応のための訓練類型	<ul style="list-style-type: none">・PCロック画面を表示・訓練対象者は、訓練であることをPCロック画面で認識できる・ロック画面の解除方式は「閉じるボタンをクリックする」と「パスワード入力」から設定することができる

■Point 3. 訓練後の教育実施でセキュリティレベルUP

訓練後、教育を実施することができます。教育名、教育期間、対象者、コンテンツを選択するだけで教育を簡単予約。教育予約後、対象者に教育案内メールが届き、教育プラットフォームにログインをし、教育コンテンツを視聴することができます。対象者の実施ステータスはリアルタイムで更新されるので、管理者はいつでも状況の把握が可能です。

教育設定の手順

- 1 教育名の設定
- 2 教育機関の設定
- 3 対象者の選択
- 4 教育コンテンツの選択

訓練実施



教育受講画面



教育実行案内メール

■Point 4. 報告書の簡単ダウンロード

訓練や教育の実施後、それぞれの結果報告書(Excelフォーマット)をダウンロードすることが可能です。全体結果や設定されたテンプレート情報、対象者・タグ別の結果など、細かく結果がまとめられているため、次の訓練や教育を設定する際に参考指標とすることができます。

開発元

JSecurity
All for Japan Security

株式会社 JSecurity

東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング 南館17階

TEL 03-4567-2823
FAX 03-4567-2824
E-mail sales@jsecurity.co.jp
URL https://www.jsecurity.co.jp